

■概要

「IVX」はローマ字のI、V、Xが描かれたカードを使って左右の隣人とローマ数字を作って得点を競う隙間時間で遊ぶお手軽ゲームです

対象年齢 : 9歳から
 プレイ人数 : 2~4
 プレイ時間 : 5分

■内容物

ローマ字カード6枚 (I×3枚、V×2枚、X×1枚)
 ×4色 (赤、青、緑、黄)
 計24枚

- 1 -

■ゲームの流れ

- 1 色毎に手札を6枚配布する
- 2 手札から規定枚数カードを全員同時に出し勝敗を決定という後述のラウンドの流れを1ラウンドとする
- 3 3ラウンドでゲーム終了となる

■勝利条件

- 1 3ラウンド終了時に最も回収したカード枚数が多いプレイヤーがゲームの勝者となる
- 2 回収したカード枚数が同じ場合は X>V>I の順番でローマ字カードの枚数が多いプレイヤーがゲームの勝者となる
- 3 ローマ字カードの枚数が同じ場合は両プレイヤーを勝者とする

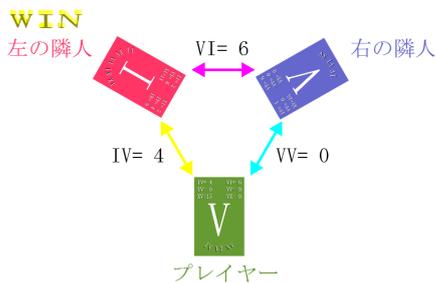
- 3 -

■ローマ数字の比較と勝者の決定

- 1 作成できないローマ数字は0扱いとする
- 2 組合せより作成された2つのローマ数字のどちらかが場の最大値であるプレイヤーを決定する
- 3 最大値のプレイヤーのもう片方のローマ数字で比較を行い、より大きいローマ数字をもつプレイヤーをラウンドの勝者とする
- 4 もう片方のローマ数字が同じプレイヤーが存在する場合はこのラウンドの勝者はなしとする

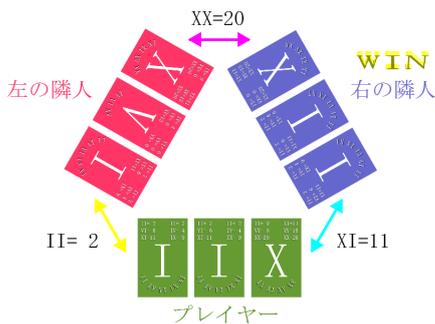
- 5 -

■1ラウンド目の比較と勝敗 (例)



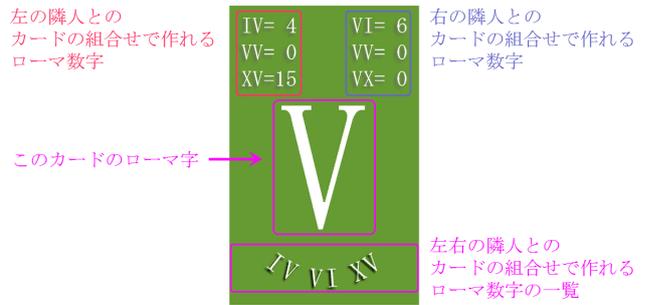
- 7 -

■3ラウンド目の比較と勝敗 (例)



- 9 -

■ローマ字カードの見方



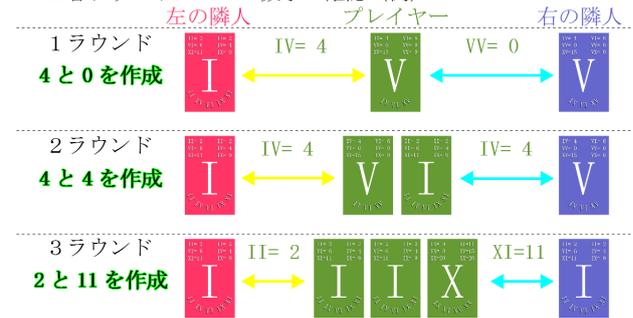
- 2 -

■ラウンドの流れ

- 1 各自手札よりカードを選んで裏向きで場に配置する
 ⇒1ラウンド目は1枚
 ⇒2ラウンド目は2枚を左右に横並び
 ⇒3ラウンド目は3枚を左中右に横並び
- 2 一斉に場のカードを表向きにする
- 3 自分と左右の隣人のカードの組合せより作成される2つのローマ数字を確認する
 ⇒3ラウンド目の中のカードは組合せに使用しない
- 4 後述のローマ数字の比較と勝者の決定をする
- 5 ラウンドの勝者は場のカードを回収する
 ⇒勝者がいない場合は回収せずまとめて場に残る
 ⇒前ラウンドの残りがある場合はそれも回収する
 ⇒場に残ったまたは回収したカードは公開情報とする

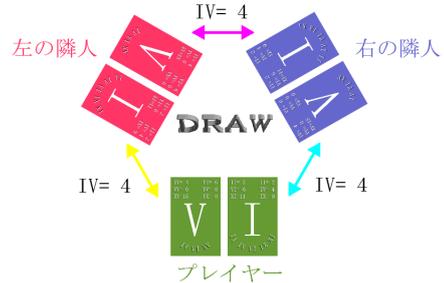
- 4 -

■各ラウンドのローマ数字の確認 (例)



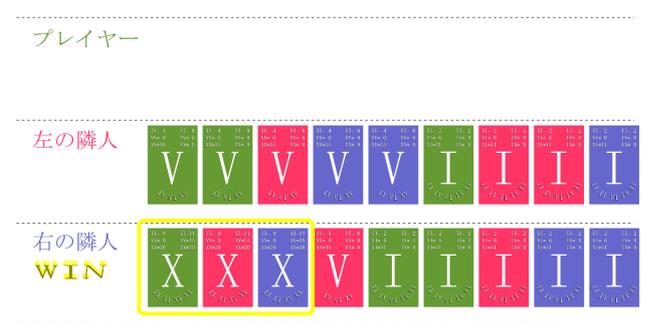
- 6 -

■2ラウンド目の比較と勝敗 (例)



- 8 -

■ゲーム終了時の勝敗 (例)



- 10 -